

建築工事写真取扱要領

(目的)

第1 本要領は、建築工事における工事写真の取扱について定める。

(用語の定義)

第2 工事写真は、その利用目的に応じて、工事中（着工前を含む）写真、完成写真とに大別する。

(1) 工事中写真・・・公共建築工事標準仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）等に基づく工事の記録として整備し提出するもの。

(2) 完成写真・・・工事の完了確認及び保存記録用に提出するもの。

(適用基準等)

第2 本要領に記載されていない事項については、工事写真の撮り方（改定第2版）（建築編）、工事写真の撮り方（改定第2版）（建築設備編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）による。

(撮影用具等)

第3 工事写真の撮影用具は、フィルムを使用するカメラ（以下「カメラ」という。）、フィルムを用いず、デジタル画像をメモリー媒体に利用するデジタルカメラ（以下「デジタルカメラ」という。）のいずれを使用してもよいものとする。

(デジタルカメラの仕様)

第4 デジタルカメラを使用する場合は、撮像素子の総画素数200万画素以上の機器により撮影する。

2 撮影した画像ファイルは、以下の仕様とすること。

①記録画素数 1600×1200以上

②フォーマット形式 JPEGフォーマット

③圧縮率 $1/1 > \text{圧縮率} \geq 1/10$ （画像劣化を防ぐため一度圧縮したファイルは解凍再圧縮をなるべく行わない。）

(工事写真の提出)

第5 工事写真は、カメラで撮影した場合、デジタルカメラで撮影した場合それぞれ以下のとおり提出する。

(1) カメラ撮影の場合

i. 工事中写真は、80×120程度の大きさにカラーで印画紙に印画し1部提出する。

ii. 完成写真は、外部全景が120×170程度、その他は80×120程度の大きさにカラーで印画紙に印画し4部提出する。

また、ネガフィルム及びネガフィルムベタ焼き（インデックスプリントでも可）1部を提出する。

iii. 写真及びネガフィルムは、市販JIS A4版工事用アルバムに製本し、表紙（別紙）に工事名、工事場所、工期、施工者名を記載し、押印する。

完成写真は、撮影位置を写真毎に記載すること。

(2) デジタルカメラ撮影の場合

画像ファイルの電子データと、工事中写真・完成写真の電子データを出力したものを提出する。

i. 画像ファイル

・提出媒体

提出に使用する媒体は、CD-Rとし、書込形式はJOLIE Tフォーマットとする。基本的に1枚のCD-Rに格納するが、複数枚になる場合はラベルに何枚目/総枚数を明記する。

・提出方法

提出部数は1部とし、プラスチックケースに格納し、ケース背表紙に名称（第6（1）i 参照）を表記し提出する。

ii. 工事中写真

- ・工事中写真は、検査確認のための、インデックス（A4サイズで2から4コマの大きさ）を、写真専用光沢紙又はインクジェット紙に印刷し1部提出する。
- ・提出方法は、（1）iiiに準ずるものとし、写真毎に画像ファイル名（第6（2）ii 参照）を記載すること。
- ・出力に使用するプリンターは、画像ファイルを規定の大きさに出力するために十分な能力を有するものを使用する。

iii. 完成写真

- ・完成写真は、カメラ撮影の場合に準じた大きさのものを、カラー印画紙に印画又は写真専用光沢紙に印刷し4部提出する。
- ・提出方法は、（1）iiiと同様な方法による。
- ・出力に使用するプリンターは、カラー印画紙に印画したものと同等の画質を出力する能力を有するものを使用する。

（CD-R作成要領）

第6 提出するCD-Rは以下の要領で作成する。

（1）フォルダ

ファイルを格納するためのフォルダを次のとおり作成する。

- i. 冒頭に写真フォルダを作成する。写真フォルダ名称は、施設ID（4桁）、工事発注年度（西暦）の下2桁、続けて工事名、工事写真を全角で入力する。

（例）100507 ○○○○工事 工事写真

- ii. 各データフォルダ

写真フォルダの直下に「工事中写真」「完成写真」「参考図」のフォルダを作成してファイルを格納する。

ただし、工事建物が複数ある場合等、1つのフォルダで管理が困難な場合は、写真フォルダの下に棟名等を記載したフォルダを作成し、その下に各フォルダを作成してファイルを格納する。

（2）ファイル

ファイルの作成は次のとおりとする。

- i. 写真管理ファイル

様式1（基本情報）、様式2（写真リスト）により作成し、PDF形式に変換し、PDFファイルを格納する。ファイル名は写真フォルダ名と同一とし、写真フォルダの直下に格納する。

- ii. 画像ファイル

ファイル名は、拡張子と”.”を除き、全角12文字以内とする。

固定記号（工事中写真は「PD」完成写真は「PC」）を頭に付し通し番号に続けて工事種目をかっこ書きする。（完成写真の場合は撮影部位をかっこ書きする。）

なお、通し番号は半角4桁とし、工事種別目は、標準仕様書の工事種目又は略称とする。

（例）工事中写真の場合・・・PD0001（仮設）

完成写真の場合・・・PC0010（南外観）

原則として、写真編集は認めないものとする。ただし、監督員の承諾を得た場合は、回転、パノラマ、全体の明るさの補正程度は認めることとする。

iii. 参考図ファイル

必要に応じて、撮影位置図、凡例図を作成し、PDF形式に変換し、PDFファイルを格納する。

ファイル名は、拡張子と”.”を除き、原則として全角12文字以内とする。

固定記号(D)を頭に付し半角6桁の通し番号に続けて簡単な説明をカッコ書きする。

(例) 参考図ファイル・・・D0001 (撮影位置図)

(3) ウイルス対策

提出前に次の各項目に従ってウイルス対策を行う。

- i. ウイルス対策ソフトは特に指定しないが、シェアの高いものを利用するようつとめる。
- ii. 最新のウイルスも検出できるようにウイルス対策ソフトは常に最新のデータに更新(アップデート)したものを利用する。

(4) レーベル

提出するCD-Rには、次のとおり作成した情報を表面に記載すること。

1. 記載方法は、プリンタによる直接記載もしくは、専用ラベル用紙に印刷し貼付のいずれかによる。
- ii. 記載内容は、名称(第10一(1)と同一とする)、何枚目/総枚数、作成年月、発注者名、請負者名、ウイルスチェックに関する情報、CD-Rのフォーマット形式を記入する。
- iii. ウイルスチェックに関する情報として以下を記載する。
 - (a) 使用したウイルス対策ソフト名
 - (b) ウイルス(パターンファイル) 定義年月日またはパターンファイル名
 - (c) チェック年月日
- iv. CD-R表面に作成担当者が押印する。

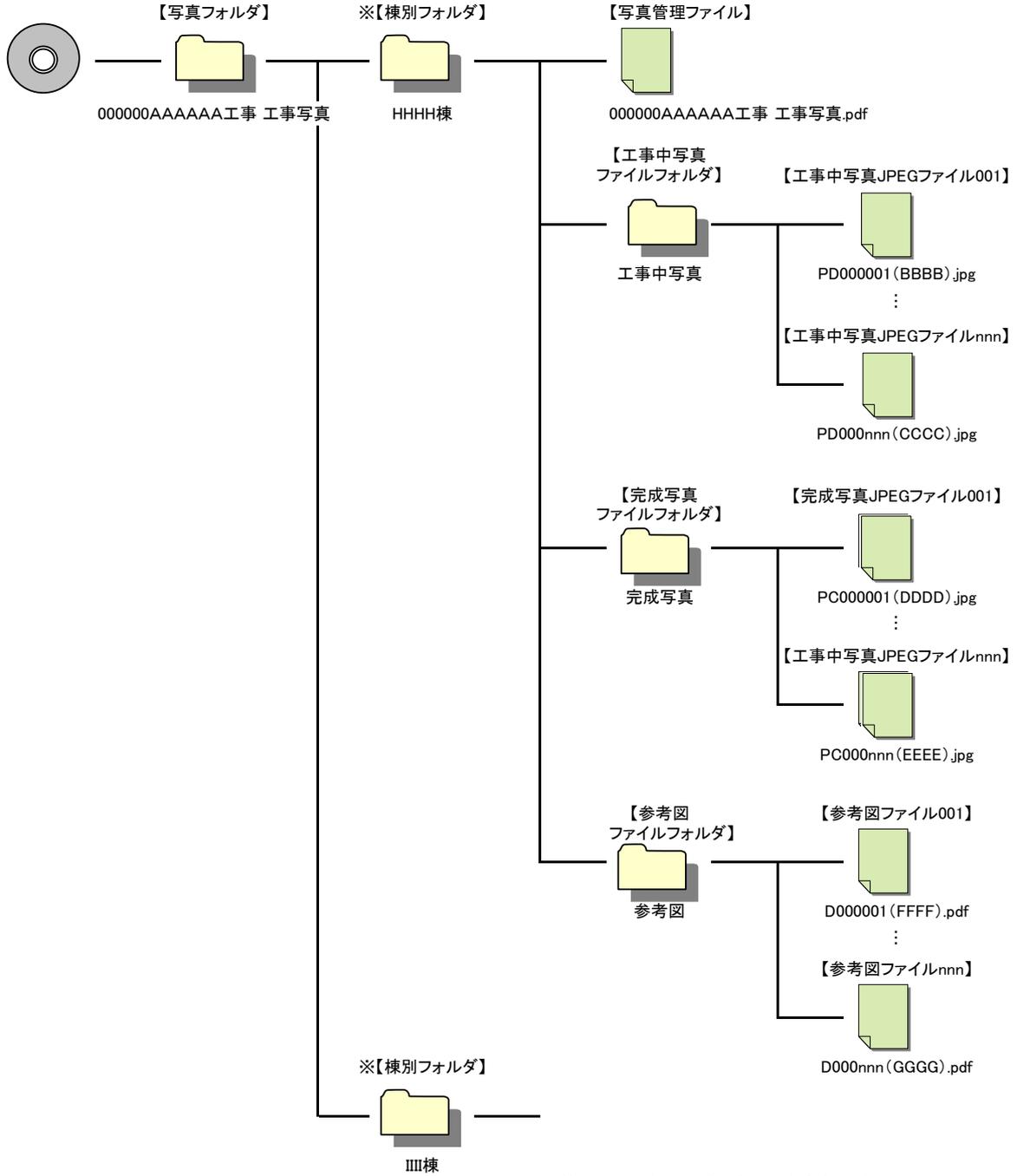
(保管)

第7 工事写真の保管は原則として以下の通りとする。

- (1) CD(電子データ)及びネガフィルムは発注機関で保管する。
(必要に応じてCDはコピーを作成し、営繕課又は監理機関でも保管する。)
- (2) 工事中写真は、監理機関で保管する。
- (3) 完成写真は、原課・施設管理者・県土整備事務所・営繕課(県営住宅に関するものは建築住宅課)で保管する。

工事写真CD-Rフォルダ構成図

電子媒体ルート



※棟別フォルダは必要なときのみ作成すること

様式1

基本情報	
工事名	
工事場所	
工事期間	
竣工検査年月日	
発注者名	
受注者名	
写真枚数	工事中 枚 完成 枚
撮影情報	デジタルカメラ名(メーカー名)
	総画素数 画素 記録画素数 ×
	圧縮率
出力情報	プリンター名(メーカー名)
	出力方式(解像度)

様式2

工事中写真リスト		
No.	工事種目	撮影内容説明
PD0001		
PD0002		
PD0003		
PD0004		
PD0005		
PD0006		
PD0007		
PD0008		
PD0009		
PD0010		

PD0011		
PD0012		

完成写真リスト		
No.	撮影部位	撮影内容説明
PC0001		
PC0002		
PC0003		
PC0004		
PC0005		
PC0006		
PC0007		
PC0008		
PC0009		
PC0010		
PC0011		
PC0012		

別紙

工事（完成）写真帳の表紙（A4）

工事（完成）写真帳			
<u>工事名</u> _____			
<u>工事場所</u> _____			
工期	着工	<u>平成</u>	<u>年</u> <u>月</u> <u>日</u>
	完成	<u>平成</u>	<u>年</u> <u>月</u> <u>日</u>
<u>工事施工者</u> _____			

注：工事施工者欄は、会社名、代表者名を記載のうえ、工事写真の場合は現場代理人名、個人印押印、完成写真の場合は、会社印を押印のこと

CD-R への表記例



デジタルカメラの仕様

デジタルカメラを使用する場合は、事前にカメラの仕様を確認すること。
 同一工事では、なるべく同一のカメラにより撮影すること。やむを得ず複数台使用する場合は、なるべく同一機種を使用し、同一ファイル仕様とすること。
 画像ファイルの設定は、途中変更しないこと。
 画像ファイルの圧縮率は、カメラにより数値表示のない場合は、1ファイル容量が500KB～1MB程度となるよう設定すること。

プリンターの仕様

出力に使用するプリンターの仕様を事前に確認をすること
 工事中写真の出力に使用するプリンターで、画像ファイルを規定の大きさに出力するために十分な能力を有するものはおおむね、**レーザープリンター600 dpi以上、インクジェットプリンター1200 dpi以上とする。**
 完成写真の出力に使用するプリンターで、カラー印画紙に印画したものと同等の能力を有するものはおおむね、**レーザープリンター1200 dpi以上、インクジェットプリンター3600 dpi以上とする。**

提出方法

デジタルカメラによる撮影の場合の工事中写真の提出方法は、A4用紙に4コマ程度とし、工事用看板が判別できる程度のものとする。
 完成写真は、A4用紙に印刷したもの若しくは、DPE（写真屋さん）で印画したもの又はプリンターで出力したものを工事用アルバムに入れたもの、いづれでも可とする。

電子データ

画像の編集（補正を含む）を認める場合には、事前にサンプルを提出させ確認し、編集したファイルが区別できるよう様式2に記入させること。
 受領したCD-Rは、監督員により再度ウィルスチェックを行う。

参考図

参考図の作成は、請負者の判断により作成するものとする。

特記仕様書は以下の通りに改訂の予定

9 工事写真	下記のものを、提出する。 仕様は、建築工事写真取扱要領による。		
	区分	分類	サイズ
	工事中 (着工前含む)	* カラー	* 80×120 程度
	完 成	* カラー	外部全景 * 120×170 程度 ・ 80×120 程度 その他 * 80×120 程度
	ネガフィルムをカラーベタ焼き又はインデックスプリントとともに提出する。		1部
デジタルカメラを使用した場合は、そのデータを記録したCD-Rを提出する。			1部

工事中写真インデックス印字例

PD0001



PD0002



PD0003

